

地域整備部

道路や河川・海岸、港湾等の社会資本の整備・老朽化対策・防災減災対策を行い、安全で安心な地域づくりを推進しています。



村上地域振興局長
兼地域整備部長 小山 明生

1 安全に安心して暮らせる、暮らしやすい新潟

県民生活の安全や利便性の確保のための維持管理や維持補修、県民のくらしと命を守る社会資本の整備や老朽化対策、防災・減災対策を計画的・効率的に行っていきます。

■県民の命と暮らしを守る一段加速した防災・減災対策の推進

<災害から県民の命と暮らしを守るハード対策の強化>

○ 河川改修事業

県民の命と暮らしを守るため、河道拡幅や護岸整備・補修、堤防補強等の河川工事を行っています。



大川（柏尾）護岸工事前



大川（柏尾）護岸工事後

また、洪水を安全に流せるよう、流水の阻害となる土砂の撤去、立木の伐採を行っています。

【治水・港湾課】



堀川 河道掘削前



堀川 河道掘削後

○ 砂防事業

土石流から集落を守る砂防ダム、急傾斜地において落石やがけ崩れ等から人家を守る柵やのり面保護施設等のハード整備を進めています。また、令和4年8月豪雨により砂防ダムにたまった土砂・流木の撤去や堰堤嵩上げ等の事業を実施しています。

【治水・港湾課、災害復旧課】



寢屋集落と背後の土砂崩壊防止柵



既設砂防堰堤の嵩上げ（小岩内大沢川）

○ 海岸侵食対策

日本海特有の冬期風浪により砂浜の侵食が進んでいる海岸が多数あります。

侵食に伴い越波による浸水や交通障害等の被害が発生する恐れがあることから、離岸堤等を整備し、越波被害の軽減及び砂浜の回復を図っています。

【治水・港湾課】



寒川地区海岸の侵食対策



風浪による越波状況

○ ダムの堰堤改良

三面川の上流には、三面ダムと奥三面ダムの二つの県営ダムがあり、それぞれのダムの機能を十分に発揮できるよう運営管理しています。

これらは三面川の洪水調節、流水の正常な機能の維持、並びに発電を目的とした多目的ダムです。三面川流域の水量をコントロールし、流域住民の生命と財産を守っています。

また、完成から70年を経過した三面ダムでは、老朽化した設備の更新・整備のため、堰堤改良事業を進めるとともに、埋塞土砂の撤去等、災害復旧事業も実施しています。

【ダム管理課】



三面ダム

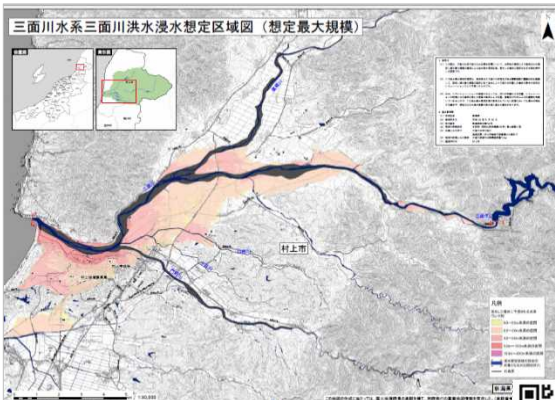


奥三面ダム

< 確実な避難行動に繋がる住民目線のソフト対策の強化 >

近年、想定以上の豪雨による土砂・洪水被害から住民の方々を守る施策に基づき、堤防整備などのハード対策とともに、避難行動の助けとなるよう、浸水想定区域図作成や土砂災害の危険を知らせる土砂災害警戒情報システムなどのソフト対策を充実させるなど、市村と共に県民の生命と財産を守るソフト対策の強化を進めています。

【計画調整担当】



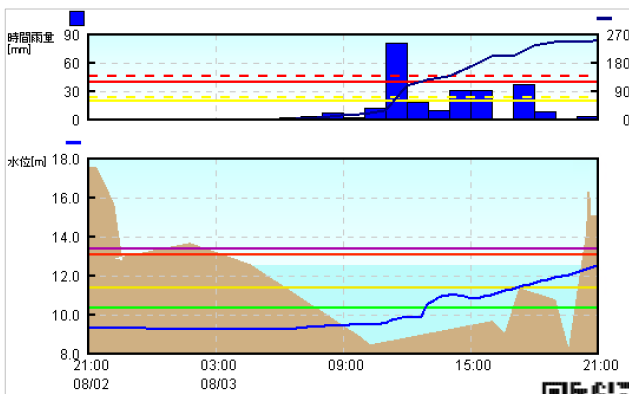
河川の浸水想定区域図の策定・公表

新潟県内の洪水浸水想定区域図



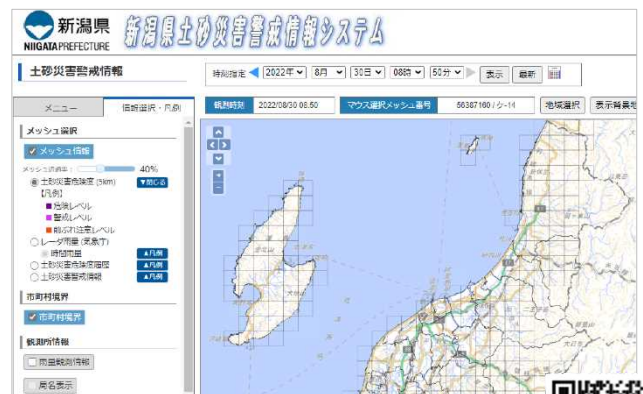
土砂災害警戒区域図の策定・公表

新潟県土砂災害警戒区域



水位計によるリアルタイム河川水位の発信

新潟県河川防災情報システム



土砂災害警戒情報システムによる危険度発信

新潟県土砂災害警戒情報システム



< 「マイ・タイムライン教室」の開催 >

「マイ・タイムライン」とは、洪水や土砂災害のような進行型災害が発生した際に、「いつ」、「何をするか」を整理した防災計画のことで、豪雨時に住民一人一人がとる防災行動を時系列に整理し、自ら考え命を守る避難行動のための一助とするものです。

地域整備部では、近年の激甚化・頻発化する豪雨災害に対し、学校教育を通じて家庭や地域にマイ・タイムラインを普及し主体的な避難行動により人命を守るため、村上中等教育学校で、「親子マイ・タイムライン教室」を令和3年10月24日に開催しております。

【計画調整担当、治水・港湾課】



開会式（マイ・タイムライン説明）



ハザードマップから危険性を確認



グループ発表

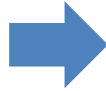
<災害発生時の二次災害防止と災害からの迅速な復旧>

令和元年7月の豪雨で発生した災害では、沢からの土砂により県道が埋没するなどし、全面通行止めとなりましたが、災害復旧事業により、早期の通行止め解消を図りました。現在は、令和4年8月豪雨災害箇所の復旧を進めています。

【維持管理課】



一般県道鶴岡村上線（岩崩地内）の被災（令和元年7月）



復旧工事完了

令和4年8月豪雨により、村上市坂町地区周辺では荒川支川の烏川や春木山大沢川が溢水し、大規模な浸水被害が発生しました。河川の氾濫による浸水被害の軽減を図るため、烏川及び春木山大沢川において河道の拡幅や市街地の周りを二線堤・輪中堤で整備を行う、緊急的な浸水対策を実施しています。

【災害復旧課】



坂町地区の浸水対策（春木山大沢川ほか）



令和6年5月 春木山大沢川



令和7年2月 春木山大沢川

春木山大沢川の河道拡幅工事の状況

■人と自然が共生する暮らし

<水環境の保全と緑あふれる快適な環境づくり>

県が管理する道路などの社会資本施設は数多くあり、管理に膨大な予算が必要です。そのため、県では一部の管理施設の維持管理を地域住民の方々と協同で行っています。

協力団体と協定を結び、河川敷や道路の草刈り、歩道除雪などを実施しています。

【総務課、計画調整担当】



国道290号（桃川峠）クリーンアップ作戦

令和7年4月27日（日）実施

■インフラ施設及び公共施設の安全の確保

<インフラ施設等の PDCA サイクルによる計画的、効率的な維持管理等>

橋梁やトンネルといった道路施設の法定点検を行い、その結果に基づき補修優先度を決定し、補修工事を実施しています。また、道路や岸壁の陥没事故を未然に防止するため、路面下空洞探査車などを用いて路面下状況の調査を行っています。

点検や調査、補修を実施することで、道路施設や港湾施設等を常時良好な状態に保ち、利用者が安全・安心に利用できるような維持管理しています。

【維持管理課、治水・港湾課】



路面下空洞調査（県道部レーダー探査）

■安全で快適な日常生活を実現する社会基盤の整備

<県民の暮らしと命を守る道路整備>

村上圏域では、地域医療体制を補完する道路や地域の活性化に寄与する道路、安心・安全な交通確保のニーズが高いことから、大雨時における道路冠水の通行規制の解除を目指した道路の整備や、多数の大型車の流入から通学・生活道路の安全性を確保する幹線道路へのアクセス道路の整備を進めています。

また、村上市と連携を図りながら、歩行者・自動車が安全で便利に通行できるまちづくりに資する道路についても整備を進めています。

【計画調整担当、道路課】



一般県道村上朝日線（羽下ヶ淵拡幅）



一般県道大栗田越後下関停車場線（アクセス道路整備）

2 地域経済が元気で活力のある新潟

■魅力的な生活環境の創出に向けたまちづくり

<住民が誇れる地域の個性あるまちづくり>

村上市は、村上大祭を代表とする伝統文化や、武家屋敷や町家といった歴史的建造物により風情ある町並みを残しています。

村上市では平成28年度に「村上市歴史的風致維持向上計画」を策定し、町家の保存、修景などを進めています。県ではこの計画に基づき、県道の整備を進めています。

【計画調整担当、道路課】



一般県道村上停車場線 修景された町家

<安全に安心して暮らせるまちづくり>

<3・4・22東大通り線 街路事業>

3・4・22 東大通り線は、村上市の坂町地区中心部を南北に縦断する幹線道路として都市計画決定され、平成27年8月に街路事業として認可されました。

幅員の狭い現在の県道を利用する通過交通が当路線に転換され、歩行者通行の安全性が格段に向上します。

また、坂町地区の利便性が向上し、若者の定住やU・Iターン者を促進する効果が期待されています。

【道路課】



東大通り線整備状況「仮称 烏川橋」

<地域間の交流を強化する道路ネットワークの整備>

<一般県道岩船港線 松山バイパスの整備>

一般県道岩船港線は、日本海沿岸東北自動車道の村上瀬波温泉ICと岩船港とを結ぶ物流ルートであり、同ICと瀬波温泉を結ぶ観光ルートとしての機能も合わせて持っています。

また、村上駅西側へ移転した新潟県厚生連村上総合病院（第二次救急医療施設）へ接続する「命をつなぐ道路」としての機能も有しています。

松山バイパスが整備されると村上・岩船地域の物流ネットワークが強化され、観光地までの移動時間が短縮され地産地消が一層進むことが期待されます。

【道路課】



一般県道岩船港線 松山バイパス

■雪とともに暮らす地域づくり

<雪によるハンディキャップのない地域づくり>

吹雪が発生すると、見通しが悪くなり、交通事故、道路閉鎖、渋滞などの原因となります。このような視程障害による問題を防止するため、地吹雪防止柵を設置し、安全な通行の確保に努めています。

【維持管理課】



地吹雪防止柵による視距の確保（村上市山屋）

<冬期における道路交通や住民生活の安全・安心の確保>

冬の降雪期における道路交通の確保は、地域住民の日常生活や社会活動維持のために極めて重要です。このため、積雪時は昼夜を問わず除雪作業にあたっています。

【維持管理課】

※令和6年度時点

除雪延長	車道除雪	266 km	除雪機械	40台
	歩道除雪	57 km		



早朝の県道除雪作業

3 港湾整備による物流・人流の促進

岩船港は、県北唯一の地方港湾で、県北部における物流拠点・広域観光レクリエーションの結節点としての役割を担っている商業港です。また、離島粟島との間にフェリー1隻が就航し、粟島浦村住民の生活を支えるとともに観光の拠点としても大きな役割を果たしています。

平成12年5月には、「特定地域振興重要港湾」に選定されたことから、地域の人々とともに「観光」をテーマにした地域懇談会、ワーキンググループなどを開催して「岩船港振興ビジョン」を策定しました。現在、新潟県・村上市・民間が協働して岩船港を中心に、瀬波温泉や粟島など地域の歴史や自然を生かした観光振興に役立つ施設の整備を進めています。

また、平成29年2月には、「みなとオアシス越後岩船」の登録を行いました。引き続き、みなとオアシス登録を活用した更なる岩船港振興策を展開し、交流人口の拡大を目指します。

港湾整備にあたっては、河口港であることから、航路泊地の浚渫及び防砂堤の整備を持続的に行っています。

【治水・港湾課】



観光振興の進む岩船港



フェリー ニューあわしま
(平成31年4月就航)

4 漁港施設の改良等による漁業生産性の維持・向上

県北の豊かな自然を将来にわたって維持できるよう、水産業の振興と育成を図る漁港の整備を進めています。

【治水・港湾課】

<寝屋漁港>

寝屋漁港は、地域の拠点漁港として底引き網漁業、定置網漁業などを行っており、新潟県内でブランド化している「越後本ズワイ」をはじめ、ヒラメ、カレイ類等の魚類、岩ガキ等の貝類を漁獲密揚げしています。

また、県北の漁船漁業、流通及び稚穂漁業の拠点として位置づけられており、岸壁の耐震・耐津波強化対策を行いました。



県内第2位の陸揚量を誇る寝屋漁港

<粟島漁港>

粟島漁港は、沿岸漁業の基地として、大型定置網を中心に刺し網漁業などを行っており、ブリ、タイ類の魚類、サザエ等の貝類を漁獲密揚げしています。

また、本土(岩船港)との定期航路の発着港として重要な役割を果たしており、岸壁の耐震・耐津波強化対策を進めています。



島の玄関口となっている粟島漁港

5 地域を支える建設産業の振興

■建設産業への理解向上に向けた情報発信

<土木出張PR>

地域を支え暮らしを守る建設業の重要性和魅力を理解してもらうとともに、将来の建設産業の担い手確保を目的に、地域整備部と建設業協会、建設コンサルタンツ協会、測量設計業協会と共同で中学生を対象とした土木出張PR（講義や実習）を実施しています。

【計画調整担当】



朝日中学校にて開催（令和5年5月22日）

<建設業界！魅力発見ツアー>

建設業界の今の姿をPRし、ものづくりの魅力を発信するため、村上公共職業安定所や羽越可川国道事務所、村上市、地域整備部で主催し、また、新潟県建設業協会村上支部や村上市建設業協会、関川村建設業協会からの協力により、高校生を対象とした現場見学会と、建設業に就職した先輩からの実体験談を聞く機会を設けています。

【土木工事検査員】



現場見学会（令和6年10月11日）

<いいねっか村上>

地域活性化イベント「いいねっか村上2024」（主催：村上商工会議所青年部）に、地域整備部と新潟県建設業協会村上支部合同で参加しました。

1ブースを借りて、建設車両やパトロール車の体験、建設機械のおもちゃ操縦会を開催し、参加者には参加賞の景品を渡す等、建設業のPRを行いました。

【計画調整担当】



ブースの状況

「パトロール車」の体験

<おいしいダム湖畔まつり>

「おいしいダム湖畔まつり」に実行委員として参加し、令和4年8月豪雨における被害状況や水害・土砂災害発生時の避難に関する啓発についてPRを行いました。

【計画調整担当】



ブースの状況

会場の様子

<ダムカード・港カード>

三面ダム、奥三面ダムを、より知っていただくため、ダムカードを作成し配布しています。

また、岩船港を紹介する「港カード」を作成し、配布しています。

【配布場所】

三面ダム 「ダムカード」 三面ダム管理所

奥三面ダム「ダムカード」 奥三面ダム管理所

※ 奥三面ダムまでの道路が通行止めのため、現在、奥三面「ダムカード」は配布していません。なお、当面の間、道路の通行止め解除の見込みはありません。

岩船港 「港カード」 村上地域振興局 地域整備部（2階）

【ダム管理課、治水・港湾課】

「ダムカード」



「港カード」

